

	兀	問三	問二	問 八	問七	F 7	問 六	問四	問一			F J	問 七			問七	ļ	問六	問五	問 -		
1		1	1	エ	1	く人	て人	木	水	Ø	人	な	V	た	昔	エ	避	戦	誰	a	名 国 和	令 和 一
投 合		イ	オ		イ	れると	も間 洗が	が	分	۲	f	V)	0	の	の		難	争	カゞ	ウ	語名	<u>-</u> - 三 主
百		2	2	問 九	2	いイ うオ	っ年 て月 も	生	を	٤	٧١	人	そ	に	図	問八		で	何	b	<b>在</b> 对	一 年 変
		ア	1			こりとや	`か 何け	き	す	<del></del>	る	が	の	対	書	八	な	空	を	イ	解	第
2		3	3	イ	木は、	(デチ	十大本も		\$	考	0	多	た	し	館		け	襲	読		<u> </u>	可
± <del>ll</del>		エ	ア		すみ	ハイオリン	働か いわ てか	٧١	て 	え	み	<	め	`	で	安川	れ	を	む	問二		入 試
耕す					からす	ンやチ	くれ、ろ	る		``	な	`	`	今	は	くんん	ば	さ	カュ	イ	紙	ar. 🗆
			問一		ッ み ま で	、やチェロやおこことを鳴らせば鳴	人、ろくろ	カュ	ま	期	で	期	逆	の	本		な	け	``		受験者	百号
			1		でつか	やおば	朱の色は	<u></u> Б	<u>う</u>	限	使	限	に	図	を		5	る	自	問三		
3			ウ		われ	ことは、鳴らす	深く美し	0	はたらき	を	う	が	今	書	延	2	な	た	曲	ア		
慣 れ た					ていき	毎日	レノロ		き	守	本	過	は	館	滞	茅野	٧١	め	じ		-	-
72			才		きました		色にかる	問 五	問一	7	だ	ぎ	本	で	す	野 し お		に	₽ 	問四	氏	名
			2		た。	は使うさんぬ	わると	天		て 	か	て	の	は	る	b		田	な	好		
4			イ 			使えば使うほどよ(たくさん鳴らすこ	といけて	 然	ウ	借	Ġ	ŧ	大	罰	と			舎	<i>۱</i> ۷	き		
成 績			エ			よい楽器に	こめって		ĦĦ	り	ل	本	切	金	罰			に	時	な		
<b>祖</b>			3			器にかる	は	の 塗 料	問 三 ———	る	そ	を	さ	が	金		状況。		代	人		
			ア			にかわり、ねうちそれらの楽器は	磨くことで、	<b>*</b>	A	~`	`	返	を	カュ	が					 が		
5			+			、 の ね楽 る哭		※ 別 解	才	き	次	さ	わ	カゝ	カ٬					読		
<del>#/</del> r			4			り け ち よ が よ	おわれ	自 然	В	だ	の	な	カゝ	<u></u> Б	カ٬					ん		
散 策			カ			高いる音が	んやおぼ		ウ	0	人	V	Ġ	な	つ					で		
						が高くなるということ。) よい音色をひびかせて	ぼ   ん 													た	得	点
			ク			いびかっせ	んは毎日使													カュ		
						と。)	使   つ													Ġ		